ミキプルーンスーパーカレッジバレー2026

秩父宮賜杯第79回全日本バレーボール大学選手権大会 男子
秩父宮妃賜杯第73回全日本バレーボール大学選手権大会 女子

開催要項

主　　催　公益財団法人日本バレーボール協会
　　一般財団法人全日本大学バレーボール連盟
　　朝　　日　　新　　聞　　社
　　日刊スポーツホールディングス
　　株式会社ジェイ・スポーツ
共　　催　一般社団法人大学スポーツ協会
特別協賛　三　基　商　事　株　式　会　社
協　　賛　株　式　会　社　カ　プ　コ　ン
　　中央日本土地建物グループ
　　電　源　開　発　株　式　会　社
後　　援　ス　　ポ　　ー　　ツ　　庁
　　公益財団法人東京都バレーボール協会
主　　管　大　会　実　行　委　員　会

I.　大会日程

1.　大会期間

２０２６年１１月３０日（月）～１２月６日（日）

2.　開会・閉会式

開会式　１１月３０日（月）EBARA WAVE アリーナ おおた　１５：００～
各チームにおいて、今年度いずれかのカテゴリーの日本代表に選出され国際大会等で活躍した選手、主将および学生代表者は、原則として必ず出席すること。
なお、出席人数は、上記の日本代表選手を除き、各チーム２名以上５名以内とする。
閉会式　１２月６日（日）EBARA WAVE アリーナ おおた　決勝戦終了後

3.　レフリークリニック・代表者会議

⑴　代表者会議１１月３０日（月）１６：００～（予定）
⑵　緊急時対応マニュアルについて１１月３０日（月）代表者会議終了後

4.　大会会場

１２月１日（火）２日（水）
EBARA WAVE アリーナ おおた
町田市立総合体育館
国立代々木競技場 第一体育館
エスフォルタアリーナ八王子
駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場

１２月３日（木）
EBARA WAVE アリーナ おおた
町田市立総合体育館
国立代々木競技場 第一体育館
エスフォルタアリーナ八王子

１２月４日（金）
EBARA WAVE アリーナ おおた
町田市立総合体育館

１２月５日（土）６日（日）
EBARA WAVE アリーナ おおた

5. 表彰

全試合終了後、実施する。

6. 記念品

優　勝チーム	男子：秩父宮賜杯、女子：秩父宮妃賜杯 ミキプルーンスーパーカレッジカップ、賞状、ミキプルーン ミズノ記念Tシャツ （公財）日本バレーボール協会杯 （一財）全日本大学バレーボール連盟杯、芳名録、ウイニングボール （公財）日本バレーボール協会個人杯盾 （一財）全日本大学バレーボール連盟メダル	
準優勝チーム	（一財）全日本大学バレーボール連盟賞状、準優勝盾、記念ボール、個人メダル ミキプルーン	
第３位チーム	（一財）全日本大学バレーボール連盟賞状、記念ボール、個人メダル ミキプルーン	
個　人　賞	（公財）日本バレーボール協会	優勝監督賞
	朝日新聞社、 日刊スポーツホールディングス	最優秀選手賞、敢闘選手賞、ベストスコアラー賞、スパイク賞、ブロック賞、サーブ賞、サーブレシーブ賞、セッター賞、レシーブ賞、リベロ賞
	ジェイ・スポーツ	ＭＩＰ賞

7. 流行性疾患への対策

大会期間中に流行性疾患への感染者または体調不良者がチーム内に２名以上でた場合は学連に速やかに報告すること。

○ 感染症対策窓口　　：health@juvf.jp
○ 感染症対策電話番号：080-4670-8995

II. 大会参加資格

1. チーム参加資格

ミキプルーンスーパーカレッジバレー２０２６に参加できるのは、地区学連の割り当てられた数とする。なお下記の条件を満たしていること。

⑴ ２０２６年度（公財）日本バレーボール協会登録規定により大学として登録されその在学生で構成されたチームであること。
⑵ ２０２６年度（一財）全日本大学バレーボール連盟加盟校であること。
⑶ ＪＶＡ個人登録（MRS）の登録者であること。

２． 学連割り当て数

男子（計６４チーム）		女子（計６４チーム）	
	学連割り当て数		学連割り当て数
北海道学連	４チーム	北海道学連	４チーム
東 北 学 連	４チーム	東 北 学 連	３チーム
北信越学連	２チーム	北信越学連	２チーム
関 東 学 連	２１チーム	関 東 学 連	２１チーム
東 海 学 連	７チーム	東 海 学 連	６チーム
関 西 学 連	１２チーム	関 西 学 連	１５チーム
中 国 学 連	６チーム	中 国 学 連	４チーム
四 国 学 連	２チーム	四 国 学 連	３チーム
九 州 学 連	６チーム	九 州 学 連	６チーム

Ⅲ. 競技、審判注意事項

１．競技規則

２０２６年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則による。
① スタッフ、選手の試合途中参加はその都度できる。
② スタッフ、選手が途中参加の場合は事前に、審判、学連委員に申し出ること。
a. 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことをラリー間に伝える。審判が確認した時点で権利を行使することができる。監督はセット間もしくは、試合終了後に記録用紙にサインする。
b. プレーヤーの試合途中参加は、その都度できる。遅れる場合は事前に、審判及び学連委員に申し出ること。

２．競技方法

全試合５セットマッチとする。

３．試合使用球

⑴ 今大会は、男子はミカサ製カラーボール（Ｖ３００Ｗ）、女子はモルテン製カラーボール（Ｖ５Ｍ５０００）を使用する。
⑵ 全試合原則５ボールシステムで試合を行う。

４．競技日程

第１日	１２月１日（火）	トーナメント１回戦
第２日	１２月２日（水）	トーナメント２回戦
第３日	１２月３日（木）	トーナメント３回戦
第４日	１２月４日（金）	準々決勝
第５日	１２月５日（土）	準決勝
第６日	１２月６日（日）	３位決定戦、決勝

５．選手、スタッフ登録

⑴ （公財）日本バレーボール協会、及び（一財）全日本大学バレーボール連盟に有効に登録されたチームで、本大会にエントリーされていること。
⑵ 大会申し込みは、選手２８名以内とする。
当日のエントリーは試合毎に１９名（選手１４名＋ベンチスタッフ５名）とする。
⑶ １チームのスタッフは部長１名（必須）、監督１名、コーチ１名、トレーナー１名、マネージャー１名とする。
※部長は（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録された者、マネージャーは当該大学の学生であること。エントリー申込受付後はエントリーの変更は認めないので注意すること。
⑷ 正規の競技者とリベロプレーヤー（以後リベロとする）の人数割りについて、１３名以上選手登録するときは２名のリベロを登録しなければならない。

６．各種資格

⑴ 部長を除くスタッフ全員について、チーム内に指導者有資格者（コーチ１、コーチ２、コーチ３、コーチ４）がいない場合ベンチに入ることは認められない。ただし、当面の間、資格取得講習会の参加証明書等により例外的取扱いを認めることがある。
⑵ トレーナーとしてベンチ入りする者は、医師、看護師又は医療免許資格を有する者とする。ただし当面の間、本法人が認める救急救命・応急処置等の講習会修了者を認める。
講習会の延期、中止等によりエントリー届締切日に証明書の発行が間に合わない場合は、大会初戦当日、本部席にトレーナー資格証明書（資格証明書のコピーを付けたもの）を提出すること。
⑶ トレーナーとしてベンチに入る者は、（一財）全日本大学バレーボール連盟が発行した資格取得証明書を試合中提示すること。

７．競技者選手、スタッフメンバー提出

⑴ 試合当日のコンポジションシートの提出について
① 第１試合は、試合開始の３０分前までに、大会本部へ提出すること。
② 第２試合以降は、試合開始２５分前までに大会本部へ提出すること。
③ コンポジションシート提出後の変更は認めない。
④ 部長以外（監督、コーチ、トレーナー、マネージャー）のスタッフを変更する場合
a. 臨時役員変更届を学連担当者に提出すること。

b. エントリー登録されている選手及びスタッフ変更予定者（6名まで）の場合に限り変更を認める。

⑵ 各セット開始前に提出されたラインアップ・シートの変更は、セカンドレフェリーがスコアラーに手渡した後は認めない。

８．試合開始時刻

⑴ 公式練習時間について、試合開始時刻の１５分前にプロトコールを開始する。但し準決勝以降は試合開始時刻の１７分前にプロトコールを開始する。

⑵ 大会期間中、フロアでのアップを行うのは試合前のチームのみとする。

⑶ チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。

⑷ 各試合の試合開始時刻は以下の通りとし、設定時間より前に試合を開始しないこととする。

⑸ サブアリーナが使用できる場合、サブアリーナにてボールを使ったアップを行うことを可能とする。

１２月１日（火）

	フロア開放時刻	試合開始時刻
第１試合	９：１５	１０：００
第２試合	１１：３０	１２：００
第３試合	１３：３０	１４：００
第４試合	１５：３０	１６：００

設定時間を経過した場合は、前試合終了１０分後にフロアを開放するものとし、試合開始は学連がフロアの使用を認めた時刻から３０分後とする。

１２月２日（水），３日（木），４日（金）

	フロア開放時刻	試合開始時刻
第１試合	９：１５	１０：００
第２試合	１１：４５	１２：３０
第３試合	１４：１５	１５：００

設定時間を経過した場合は、前試合終了１０分後にフロアを開放するものとし、試合開始は学連がフロアの使用を認めた時刻から４５分後とする。

１２月５日（土），６日（日）

	フロア開放時刻	試合開始時刻
第１試合	８：４５	９：３０
第２試合	１１：００	１１：３０
第３試合	１３：００	１３：３０
第４試合	１５：００	１５：３０

設定時間を経過した場合は、学連がフロアの使用を認めた時刻から３０分後試合開始とする。

９．公式練習及び試合時のベンチ

⑴ 公式練習の時間は、全試合１チーム５分ずつとする。合同の場合１０分間とする。

⑵ 公式練習には、スタッフとして認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者１４名のみが参加することができる。

⑶ 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。但し、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。

⑷ 公式練習を行っているチームのモッパーは公式練習にボール拾いとしての参加を可能とする。ただし、コートの中に入ることは不可とし、ユニフォーム、スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。

⑸ ボールカゴ及び部旗は公式練習後に競技エリア外へ出すこと。
※当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。
※部旗は床に倒して置くこと。

⑹ ベンチには飲料水、救急用具等の最低限の必需品以外を持ち込まないこと。

１０．ユニフォーム

⑴ 本大会のユニフォーム等の広告は（一財）全日本大学バレーボール連盟ユニフォーム規定によって規制

されると共に、（公財）日本バレーボール協会公認企業以外のロゴの露出を禁止される。
※試合中の競技用品（ユニフォーム、サポーター、ベンチスタッフウェア、シューズ）は公認企業となる。

⑵ ソックスについては長さと色を統一し、刺繍（ロゴマーク等）のワンポイントまで認める。但し、公認企業以外のメーカーのロゴ等が露出するソックスを着用する場合、安全に十分に配慮してマスキングを施すこと。尚、くるぶしの見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は認めない。

⑶ チームキャプテンは長さ８ｃｍ、幅２ｃｍのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。なお、当初のエントリー表に記載されたチームキャプテンと実際のチームキャプテンが異なる場合は、代わりにチームキャプテンを務める選手がキャプテンマークを付けること。

⑷ リベロの着用するユニフォームは、チームの他の競技者と明確に識別できる対照的な色であること。リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。

⑸ リベロと他の競技者のユニフォームの色が共に２色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。

⑹ 本大会のユニフォーム、シューズ、サポーターの使用企業については、下記URLより確認すること。
どの企業の製品か十分注意すること。公認企業以外のロゴは、安全に十分注意して隠しマスキングをして使用することができる。
公益財団法人日本バレーボール協会 公認推薦用具
https://www.jva.or.jp/jva/equipment/

１１．リベロ・プレーヤーの取扱いについて

⑴ リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行ができなくなった時は、監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。
リベロがプレーでき,なくなったと宣言されたときには監督または監督不在の場合はゲームキャプテンが、ファーストレフェリーの許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。
※リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であればだれでも良い。

⑵ リベロに再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレーヤーには戻れない。

⑶ ２人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうち１人がプレーできなくなっても、リベロ１人で試合をすることができる。
再指名は認められないが、もう１人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は、他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。

⑷ 再指名されたリベロが、プレーできなくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。

⑸ 監督がセカンドレフェリーに、口頭で「リベロの再指名」を要求する（ハンド・シグナルは示さない）。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレイスメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備して立っていなければならない。
※再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る。
しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。

① リベロがコート上にいる時でも、再指名をすることができる。セット間にリベロの再指名をしたい時、監督はリベロを再指名することをセカンドレフェリーに伝える。

② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了後までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

１２．ワイピング行為について

⑴ モッパーは当該チームから２名まで配置することができる。服装は選手と異なる統一された物であること。また、迅速に行うこと。

⑵ チームの運営上、モッパーが出せない時は、試合前にチームキャプテンがレフェリーにその旨を伝えることで、控えの選手が行うことができる。

⑶ 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングは実施しない。必要ならば、モッパーがタオルを持ちコート内を確認すること。

⑷　モッパーが応援及びチームのマネジメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。

１３．競技全般の不法行為の取扱い

⑴　２０２６年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則による。

⑵　（一財）全日本大学バレーボール連盟及び（公財）日本バレーボール協会に登録されていない選手、スタッフが試合に出場したときは以下の様に取り扱う。

①　試合中に発覚した場合　　→６人制競技規則７、３、５、４に従って処分する。

②　試合終了後に発覚した場合→没収試合とする。

⑶　競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。なお、コンプライアンス違反に該当する行為または言動があった場合は、（公財）日本バレーボール協会コンプライアンス規 程に基づきコンプライアンス委員会を開催し、その審議を経て理事会において処分を決定する。

１４．試合前の待機中のチーム

試合終了後の挨拶が終了し、学連委員の指示があるまでアリーナ外で待機すること。

１５．チームスタッフ

⑴　チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の全ての役職を行うことができる。但し、マネージャーは当該大学生のみとする。

⑵　部長は当該大学の教職員でなければならない。また、同一大学の男女両チームが参加する場合は兼任することができる。

※部長以外のスタッフは、男女兼任のスタッフ登録、ベンチ登録を不可とする。

⑶　部長は、男女どちらかのチームの監督を兼務することができる。

⑷　当該大学の学生で、（公財）日本バレーボール協会、（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。

⑸　部長、監督は原則として季節に応じた正装（ジャケット必須）とする。
但し、ネクタイ不要とする。コーチ、トレーナー、マネージャーの服装については、原則として統一された服装のものを着用すること。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合は実行委員会の判断により緩和することができる。

⑹　部長、監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。

⑺　試合中の中断の要求が出来るのは監督とゲームキャプテンだけである。

⑻　監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。

⑼　試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。相手チーム選手の番号や名前を特定する行為は制裁の対象となる。

⑽　部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章を付けなければベンチに入ることができない。

⑾　試合中はトレーナー認定確認書を大会本部で受理して身に着けること。

１６．学生補助役員について

⑴　学生補助役員は１４名（スコアラー２名、ラインジャッジ４名、点示２名、ボールリトリバー６名）で行う。

※会場によって配置人数が異なる場合もある。

⑵　プロトコール開始１０分前までにスコアラーズテーブルに集合すること。

⑶　学生補助役員は以下のように行う。

①　補助役員が不足している場合は、リトリバー、点示から同会場で同時刻に試合を行っている他コートチームで役割を分担させる。

②　チームで統一された服装で行い、任務を遂行すること。

⑷　ラインジャッジはレフェリーの一員として正確なジャッジをすること。

⑸　点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。

⑹　ボールリトリバーは、公式練習中は隣のコートにボールが入らないよう、ボールキーパーをすること。ボールキーパーは公式練習中にプレーエリア内に入ることはできない。

⑺ ボールリトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり、注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡すとき以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営をすること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。

１７．棄権の取扱いについて

⑴ 規律委員会は競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。
⑵ ２０２６年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則、２０２６全日本インカレ開催要項、競技上の注意事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会において、処罰の対象となるので十分注意すること。
⑶ 棄権校が出た場合、各地区学連での補填期間を１１月２３日（月）までとし、関東学連での補填期間を１１月２７日（金）までとする。それ以降は不戦敗とする。

Ⅳ．会場使用上の注意

各会場マニュアルを熟読しておくこと。

⑴ 横断幕等を張る際には各会場の注意事項に従い、観客の観戦の妨げにならないよう配慮すること。
⑵ フロアでの撮影は禁止とする。フラッシュ撮影はプレーの妨げとなるため禁止とする。
企業席、報道席を設ける為、企業関係者、報道関係者は該当する場所で観覧すること。
⑶ 各会場の電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。
無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。
チームデータのためのビデオの充電は全会場学連委員に申し出ること。
⑷ 本大会で施設を利用する際、施設内は禁煙。喫煙については各施設の利用規則を遵守すること。
⑸ 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わないものとする。
各チームともに荷物の管理は徹底すること。
※忘れ物、紛失物に関しては、各会場受付にて預かるものとする。（大会期間中のみ）各会場受付まで連絡すること。貴重品以外の忘れ物、紛失物は大会終了時に処分する。
⑹ 勝ち上がったチームの荷物の置き場は、各会場にて学連委員に確認すること。翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して、最小限のスペースに留まるように協力すること。チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても連盟は一切の責任を負わないこととする。
⑺ 会場で出たごみは各自（各チーム）責任をもって持ち帰ること。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しないこと。特に弁当やごみの回収に関しては、各チームで責任をもって持ち帰ること。

Ⅴ．その他

⑴ 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項（誘導）に従って適切な行動を行うこと。
⑵ 大会参加者は、事前に健康診断を受けること。選手の体調および感染症対策については、チームおよび個人の責任としてこれを受け止め、十分に留意すること。なお、競技中の負傷については応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
⑶ チーム内の感染状況によっては、選手の安全等を第一に考え、試合出場を辞退することも検討すること。
⑷ 練習会場は用意しない。
⑸ 宿泊、弁当については、各チームで手配すること。
⑹ チームで手配した弁当やごみの回収に関しては、各チームで責任をもって受け渡しを行うこと。会場にごみを放置したまま帰る等の行為は禁止とする。

Ⅵ．大会申込について

１．大会申込方法

大会申込方法については、別資料「申込要領について」を掲載するため、そちらを参照すること。

２．抽選会

日時：１１月３日（火）
女子　１４：００

男子　１５：００
抽選会は全日本学連委員で行う。
各学連の代表者による抽選を行う。
抽選の模様はＹｏｕＴｕｂｅでライブ配信する。
抽選会の結果は速やかに全日本学連のホームページに掲載する。

Ⅶ. 本大会に関する問い合わせ先

一般財団法人全日本大学バレーボール連盟
〒１０１‐００３５
東京都千代田区神田紺屋町４６　風月堂ビル４０５号室
Ｔ　Ｅ　Ｌ：０３‐５２４４‐４８０４
Ｆ　Ａ　Ｘ：０３‐５２４４‐４８０５
E-mail：全日本インカレ大会事務局：男子m_alljapan@juvf.jp　女子f_alljapan@juvf.jp